

秋田の身近な動物

# ツキノワグマ

クマを知り、被害を防ぐ



# ツキノワグマってどんな動物？

学習能力が高い

p.2コラムへ

- ✓ 聴覚と嗅覚が発達
- ✓ 嗅覚は犬より鋭い

- ✓ 指は5本
- ✓ 大きく丈夫な爪が特に前足で発達



- ✓ 胸に月の輪マーク
- ✓ マークの大きさや形の違いから個体識別ができる



体長（鼻先からおしりまでの長さ）  
100～150cm



ツキノワグマ



秋田犬

- ✓ 足はとても速い
- ✓ 50メートル3秒（時速60km）

体高（地面から肩までの高さ）  
50～70cm：秋田犬と同じくらい



# ツキノワグマの生活

- 昼行性で、特に朝と夕方の薄暗い時間帯にもっとも活発に活動します。
- 農作物や実のなる庭木などに通うことを覚えたクマは、人目を避けて昼夜逆転生活になることもあります。

## 春

冬眠から目覚める季節。クマも山菜を求めて行動しているので、山菜採りで山に入る人がクマに出会いやすい時期です。

主な食物：植物の新芽、山菜、タケノコなど



## 夏

成獣は繁殖、1歳半の幼獣は独り立ちの季節。徐々に草木の葉は堅くなり、木の実の量も秋ほど多くないため、山の中の食物が最も乏しくなる季節でもあります。農作物を狙って出てくるクマと集落周辺で出会いやすい時期です。

主な食物：(初夏)サクラ・クワ・イチゴ類などの木の实  
(盛夏)アリ・ハチなどの昆虫類、ミズキなどの木の实



## 秋

冬眠に備えて脂肪を蓄える季節。

通常年は、キノコ採りで山に入る人がクマに出会いやすい時期です。クリ拾いも要注意。

秋の木の実がそろって凶作の年は、食物を求めてクマが行動範囲を広げます。その中で集落へ出没してしまう個体が増えるため、山の中だけでなく集落でもクマとの遭遇リスクが上がります。

主な食物：ドングリ、サルナシ、ヤマブドウなど



## 冬

冬眠します。冬眠は食物の無い季節を乗り切る戦略なので、暖冬でも食物が無ければ眠ります。妊娠したメスは冬眠中に出産します。

### ●コラム：学習能力が高いがゆえの行動変化・適応能力

クマは基本的に人に遭遇しないように生活しており、音やにおいなどで人に気付くと、人を避ける行動をとります。

ただし、集落周辺で暮らしているクマは、車や人が自分に危害を加えないことを学習しており、ある程度距離が離れていれば、逃げないこともあります（左下図）。

また、農作物や実のなる庭木で容易に食べものを得られることを学習すると、日常的にそういった場所に通ったり、付近に居着いたりしてしまいます（右下図）。



# クマはなぜ人里に出てくるの？対策は？

## POINT



集落には農作物や実のなる庭木など、一度に・簡単に・大量に得られる食物が豊富にあります。こうした食物を覚えたクマは集落に通ってしまうため、集落内の食物をクマに食べさせないように管理することが必要です。

## 対策① 人里の食べものをクマに食べさせない！

### ● 農地で…

- ・農地を電気柵で囲いましょう。クマ対策には、地上から20、40、60cmの3段張りが基本です。
- ・キズものや規格外、摘果したものなどの廃棄作物もクマにとってはごちそう。放置せず、きちんと処分しましょう。処分が難しい場合は、電気柵の中に集めるなど、クマが食べないような工夫をしましょう。
- ・米ぬかもクマを引き寄せます。堆肥化などのため屋外に堆積する必要がある場合は、電気柵で囲いましょう。



電気柵を設置した果樹園

### ● 家のまわりで…

- ・クリやカキなどの実のなる庭木は  
実を利用しないなら
  - －伐採する
  - －木を残す場合は早期に実をもぎとる（樹高が低くなるよう剪定すると管理しやすくなります）実を利用するなら
  - －木を電気柵で囲う
  - －クマが登れないよう幹にトタンを巻く（地面に落ちた実はクマに食べられてしまうので、トタンを巻く場合は落ちた実をこまめに回収しましょう）
- ・コンポストやゴミもクマを引き寄せます。クマが出没する場所ではコンポストの利用を控えるか、電気柵で囲うなどして、クマに荒らされないようにしましょう。また、ゴミは収集日を守り、当日の朝に出しましょう。



屋外に放置された米ぬか



幹にトタンを巻いた柿（島根県提供）



人身被害や農作物被害を防ぐためには、集落にクマを寄せ付けない・通わせないことが重要です。クマが集落に出没する理由を知り、対策をとりましょう。

## POINT

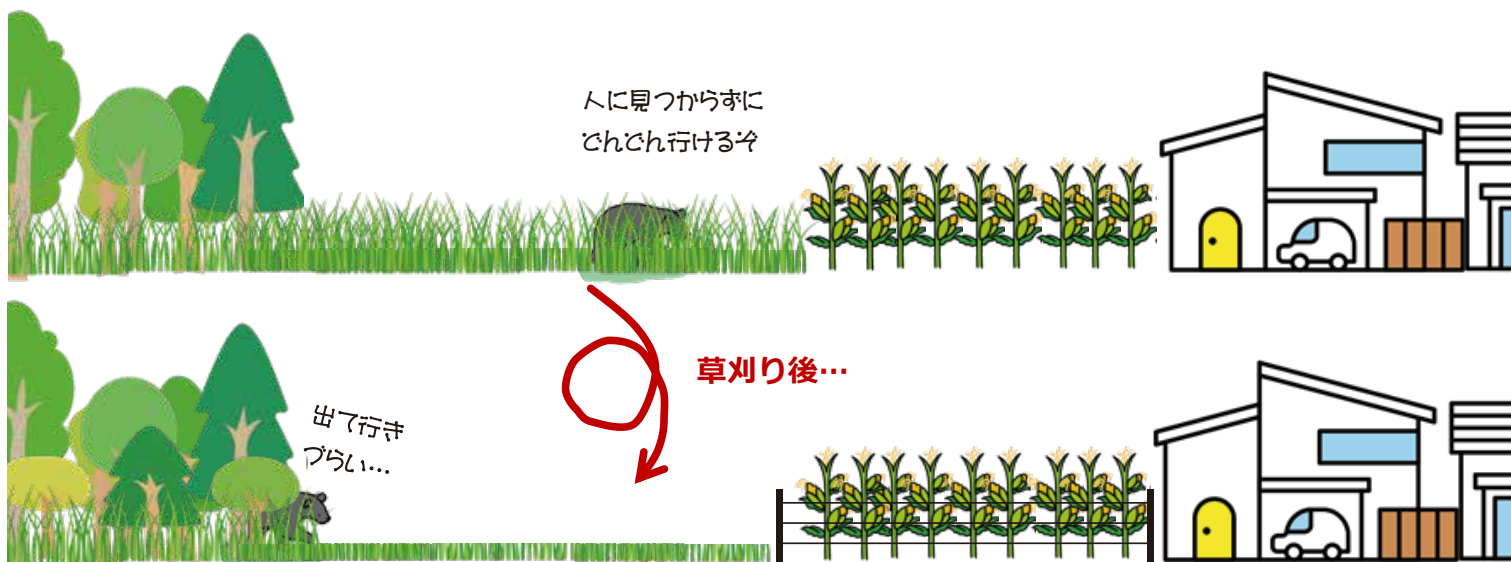


クマはヤブなどの人目につきづらい場所を利用して行動しています。現在は集落周辺の草刈りに手が行き届かなかったり、耕作放棄地が増えたりしていることで、クマが集落に近付きやすくなっています。

## 集落に近付かせない！

### ● 除伐や間伐、草刈りなどで見通しの良い環境をつくる

- ・見通しが良くなると、クマが隠れにくく・通りにくくなります。家のまわりや通学路の周辺などの環境を整備し、クマが近付きにくい集落を目指しましょう。
- ・見通しが良くなることは、お互いに見えやすくなるメリットもあります。至近距離でクマと鉢合わせするリスクを下げるためにも、見通しの確保は重要です。



### ● コラム：集落の中のチェックポイント、知ってますか？

庭木以外にも、サクラやクワ、クルミなど、クマが好む実のなる木は意外と集落にたくさんあります。集落内のどこに・どの季節にクマが来そうかチェックしておくことで、実のなる季節には近付かない／近くを通る場合は注意するなど、鉢合わせを避けるための対策をとることができます。



# クマとの事故を防ぐ

## POINT

### クマを知る・情報を共有する

- ✓ クマを知ること、対策の第一歩。正しく知ること、とるべき行動や“やってはいけない”こと、身を守る方法がわかってきます。
  - ✓ クマやその対策に関する正しい情報をまわりの人と共有しましょう。
  - ✓ 山でクマに荷物をとられた・後をつけられた、集落でクマを目撃した——そんなときは必ずまわりの人と情報共有し、お互いに注意しあいましょう。
- 出没情報は秋田県公式ウェブサイトのツキノワグマ情報ページ（裏表紙参照）からも見るができます。



## こんな痕跡には要注意！

新しい糞や足跡などの痕跡を見つけたら、近付かないようにしましょう。  
集落内で見つけた場合は、集落で情報を共有して注意・対策をしましょう。

### 糞

クマの糞は食べたものがあまり消化されないまま出てくるため、食べたものにより色や質感が異なります。タヌキやキツネなどと違って臭くなく、草や木の実など、食べたもののおいがるのも特徴です。



食べたもの：（上段左から）葉っぱ、クリ  
（下段左から）サクラの実、カキ

### 足跡

クマの足の裏は前足と後ろ足で形が違います。



クマの足跡の特徴は

- ・ 2種類の形
- ・ 大きな足跡（横幅は約10cm）
- ・ 指が5本

です。

### クマ棚

クマが枝を折りながらドングリを食べた跡です。



事故の多くはクマとバツタリ遭遇して  
しまったケース。遭遇しないことが  
一番大事です！

POINT

## クマに出会わない・鉢合わせを避ける

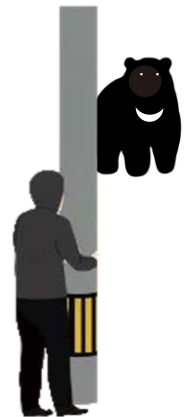
- ✓ 山菜採りなどで森やヤブに入るとき、集落内の見通しの悪い所を通ったり近くで作業をするとき、クマとの鉢合わせを防ぐため、クマに気付いてもらえるように音を立てましょう。
- ✓ ラジオや鈴を鳴らす、スマホで音楽をかける、自転車のベルを鳴らすなど…どんな音でも構いません。
- ✓ 雨の日や風の強い日、沢沿いなどの音が聞こえにくい状況では、より積極的に大きな音を立てるようにしましょう。



POINT

## もしもクマに出会ってしまったら

- ✓ 慌てず落ち着いてゆっくり後ずさりしましょう。背中を向けたり、走って逃げると追いかけることがあります。
- ✓ 近くに逃げ込める建物や車がある場合は、すぐに避難しましょう。
- ✓ 避難できる場所が無ければ、クマと自分との間に木や岩（山の中の場合）、電柱や塀（集落の場合）などの障害物を挟むように移動しましょう。



POINT

## もしもクマが襲いかかってきたら

- ✓ クマ撃退スプレー\*を持っている場合は、迷わず噴射しましょう。
- ✓ クマの攻撃は人間の頭部に集中する傾向があります。クマ撃退スプレーが無かったり、噴射が間に合わないなどの場合は、両手を首の後ろで組んで顔を伏せる姿勢（右図）をとりましょう。頭部や頸部への致命傷や、顔面の大ケガを防ぐポーズです。



\*クマ撃退スプレー

強力な唐辛子スプレー。ホームセンターやアウトドアショップ、インターネット販売で入手できます。



秋田県公式webサイト「美の国あきたネット」

## ツキノワグマ情報



クマの生態や対策、出没マップ、人身事故に関する情報など、秋田県のクマに関する情報を掲載しています。ぜひご覧ください。

<https://www.pref.akita.lg.jp/pages/archive/23295>

## ツキノワグマ 被害対策支援センター

秋田県では、「ツキノワグマ被害対策支援センター」を県庁内に設置し、各地で出没対応サポートや人身事故の検証、被害防止への提案、各種研修、秋田県庁出前講座の開催など、出没・被害防止に向けた各種取組を行っています。

集落での対策や出前講座の開催など、お気軽にご相談ください。



### 秋田県庁出前講座「野生動物の生態と対策について」

内容：クマの生態、被害対策など

対象：人数・年齢を問わず、どなたでも・どんな場面でもOKです！

申込：日程調整をしますので、まずは自然保護課にご連絡ください。

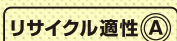
日時が決定したら、申込用紙を以下までお送りください。

秋田県自然保護課

TEL 018-860-1613

FAX 018-860-3835

Email [Shizenhogoka@pref.akita.lg.jp](mailto:Shizenhogoka@pref.akita.lg.jp)



この印刷物は、印刷用の紙へ  
リサイクルできます。

発行 令和6年3月  
表紙・裏表紙クマ写真：渡邊颯太